

平成 16 年 4 月 22 日

各 位

会 社 名 富士レピオ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 鈴木 博正
コ ー ド 番 号 4 5 4 4 東証第 1 部
問 合 せ 先 企画推進部 IR・広報推進チーム
電 話 番 号 0 3 - 5 6 9 5 - 9 2 6 8

会 社 名 ステムセルサイエンス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 中島 憲三
問 合 せ 先 事 業 開 発 部
電 話 番 号 0 7 8 - 3 0 6 - 0 3 8 1

幹細胞培養用無血清培地の共同開発契約締結に関するお知らせ

富士レピオ株式会社(本社:東京都中央区、社長:鈴木博正)とステムセルサイエンス株式会社(本社:兵庫県、社長:中島憲三)は、幹細胞の培養および機能性細胞への分化誘導に使用する無血清培地を共同開発することで合意し契約を締結いたしました。

本契約に基づきステムセルサイエンスは、Stem Cell Sciences Ltd. (本社:オーストラリア)の有する知的所有権と、理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター並びに各研究機関との共同研究成果を元に、幹細胞の未分化状態の維持、または機能性細胞への分化誘導因子を特定し、幹細胞培養用並びに分化誘導用培地の基礎的な開発を行います。富士レピオは、ステムセルサイエンスに対して研究費並びに研究員の支援を行うとともに、細胞培養並びに生理活性物質調製に関するノウハウを元に、本培地の製品化を行う予定です。また、富士レピオは、日本を含むアジア地域における本培地の製造及び販売について独占的権利を確保いたしました。その他の地域については、ステムセルサイエンス株式会社が権利を留保しています。

幹細胞は、様々な機能性細胞へ分化する能力と長期間にわたって自らを複製・再生する能力を持った細胞であり、再生医療の実現に向けて精力的な研究開発活動が行われています。しかし、幹細胞の培養及び幹細胞から各種機能性細胞への分化誘導においては、現在、仔牛血清を含有する培地が使用されており、同血清は狂牛病に汚染されている危険性をはらんでいることから、仔牛血清を含有する培地において培養または分化誘導されたヒト細胞を実際の再生医療に使用することは困難であるとされています。従って、幹細胞の培養及び幹細胞から各種機能性細胞への分化誘導において使用される培地の無血清化が再生医療の実現には不可欠であり、今回の共同開発を通じて両社は、再生医療の実現に大きく貢献できるものと期待しております。

以上